

# 国語① 思いやりのデザイン

かだい

文章の話題と筆者の考えを  
読み取ろう。

- ・教科書P48・49を開きます。
- ・国語のノートの新しいページを開きます。

# 学習の流れ

- ① ノートに単元名、日にち、かだいを書きます。
- ② 「思いやりのデザイン」を音読します。
- ③ 音読カードにふりかえりを書きます。
- ④ 文章の話題を見つけ、ノートに書きます。
- ⑤ 筆者の考えを見つけ、ノートに書きます

- ・今までの国語のじゅ業と同じ書き方をします。
- ・ていねいに書きましょう。
- ・次のページのノートの例を参考にしましょう。



# 文章の話題の見つけ方

三年生で学習した「言葉で遊ぼう」です。これを参考に、文章の話題を見つけましょう。

れんしゅう

「こまを楽しむ」の学習にいかしましょう。

## 言葉で遊ぼう

小野 恭靖

- ① みなさんは、しりとりや早口言葉で遊んだことがありますか。これらは、古くから多くの人に親しまれている言葉遊びです。言葉遊びには、ほかにどのようなものがあるのでしょうか。また、どのような楽しさがあるのでしょうか。
- ② にた音や同じ音の言葉を使って文を作るのが、しゃれです。たとえば、「ふとんがふとんだ」。「イクラはいくらだ」がそうです。しゃれは、「ふとん」と「ふとんだ」や、食べ物「イクラ」と数やねだんをたずねる「いくら」のように、にた音や同じ音の言葉を使って作られます。言葉には、にた音や同じ音であっても、意味がちがうものがあります。しゃれには、言葉のもつ音と意味とを組み合わせるといふ楽しさがあるのです。
- ③ 上から読んでも下から読んでも同じになる言葉や文が、回文です。回文には、

「きつつき」や「しんぶんし」のような短い言葉もあれば、「わたしたわしわたしたわ」のように長い文のものもあります。回文になっている言葉や文を見つたり、自分で作ったりする楽しさがあります。回文は、長くなればなるほど作るのがむずかしくなりますが、できたときのうれしさも大きくなります。

- ④ 言葉を作っている文字の順番をならべかえて、べつの言葉を作るのが、アナグラムです。たとえば、「とけい」をならべかえると、「けいと」という言葉ができますし、「くつみがき」をならべかえると、「実がつく木」というひとまとまりの言葉ができます。アナグラムには、元の言葉とは全くちがう意味の言葉を作る楽しさがあるのです。

- ⑤ このように、言葉遊びにはいろいろあり、それぞれに楽しさがあります。言葉遊びをするのには、とくべつなどうぐや、広い場所はいりません。ふだん使っている言葉だけで、楽しい時間をすごすことができます。人々は、昔から言葉遊びを通して、言葉のおもしろさにふれてきました。あなたも、言葉遊びを楽しんでみましょう。

# 言葉で遊ぼう

れんしゅう

「こまを楽しむ」の学習にいかしましょう。

小野の  
恭靖

① みなさんは、しりとりや早口言葉で遊んだことがありますか。これらは、古くから多くの人に親しまれている言葉遊びです。言葉遊びには、ほかにどのようなものがあるのでしょうか。また、どのような楽しさがあるのでしょうか。

話題は文章の「初め」に書いています。

この文章の話題は、この問いの部分になります。キーワードは、「言葉遊び」ですね！

では、「思いやりのデザイン」は何について書かれた文章でしょうか。キーワードを見つけよう。

